

『命を守る行動のきっかけに』 ～ 土石流の恐ろしさを疑似体験 ～

「土木」への理解とイメージアップを推進するため、国土交通省、新潟県、長岡市、NEXCO東日本、新潟県建設業協会では、毎年「土木フェスティバル」を開催しています。今年も秋晴れの10月8日（日）に国営越後丘陵公園（新潟県長岡市）で開催しました。

湯沢砂防事務所では、土石流の前兆現象、振動、岩がぶつかる激しい音などが疑似体験できる「土石流3Dシアター」、砂防えん堤の役割について学ぶ「土石流模型実験装置」を出展し、土砂災害の恐ろしさと地域の安全と安心を守るための砂防事業について説明しました。

地域の皆様にはこの疑似体験などをきっかけとして、いざという時の情報収集や避難といった命を守る行動について考えていただければ幸いです。



湯沢砂防事務所出展ブース

当日の朝 心地よい秋晴れ



土石流模型実験装置を使い
砂防えん堤の役割を説明



土石流3Dシアター 300名の方から体験いただきました

砂防えん堤とは、大雨が降り土石流が発生したときに大きな岩や 流木などを含む土砂をため、下流への被害を防ぐ施設です。

引き続き、土石流の恐ろしさと地域の安全と安心を守るための砂防事業についてご理解いただくため、各地の防災イベント等に出展してまいりますので、ぜひ、ご来場ください。

- ・ 今後の「土石流3Dシアター」出展予定
11月11日（土） 津南町防災訓練（新潟県中魚沼郡津南町）